



けない人々が働いても生きてゆけない。
働く場所も無いという状況が報告され続けている。しかも政府は、ただ弱者から搾取する強者の理念である「新自由主義」の名の下、格差社会をさらに押し広げているばかりである。「いざなぎ景気」と名づけられた長期好景気は、一部の資本をもった人間にのみその恩恵を独占させ、労働者・市民・高齢者等社会的弱者には恩恵を与えられず、貸金を下げ続け、憲法に言う最低限の生活保障すら切り捨てた。
「働き方や労働時間の選択の自由」「自分にあった仕事の確保」と資本家側のえせ評論家から、さも人間の尊厳が保障されるような宣伝がされた。
一方では弱い立場に至った者、ワーキングプアやホームレスに対して、「自己責任」と称して切捨て、社会的救済策や責任を放棄した。その狙いは、「人買い」として規制されていた、労働者派遣法を大幅に規制緩和し、原則自由化することにあった。
この結果、非正規労働者が激増し、資本家は低賃金・使い捨て労働者を大幅に確保できるようになった。
しかし、米一俵のたとえ話で我慢してきた国民の、政府への積年の怒りや恨みが小泉退陣とともに噴出し始めている。
そして、今年、世界を襲ったアメリカのサブプライムローンに代表される金融問題

東京清掃労働組合 一組総支部 各支部役員体制 (2008年12月現在)

支部名	委員長	副委員長	副委員長	書記長	書記次長	会計	執行委員	執行委員
一組本庁	松村良一	山崎精一		河野祥次	西田 久	板東喜久恵	大島伸介	
中央工場	岡沢 徹	小久保 正		青木克則		小野 純		
港 工場	小林健吾	須田 肇		木澤英樹	青木勝之	阿部克由	野添武夫 有波達也	江原章朗 細谷福次
有明工場	米倉康夫	大橋洋一		早川俊幸		早川俊幸 (兼務)	渡邊幸夫	新井 敦
有明工場 中防分会		山下秀男						
江戸川工場	寺本敏樹	山下秀則		中里保夫		中里保夫 (兼務)	田中芳典	佐藤健一
豊島工場	湯本 優	須藤真之	武藤幸治	上村幸司		上村幸司 (兼務)		
練馬工場	加藤尚英			加藤尚英 (兼務)		加藤尚英 (兼務)		
墨田工場	池田直喜	衣笠裕輔		池田直喜 (兼務)	今西 愁	池田直喜 (兼務)		
光が丘工場	箱田修一			福田雄一		福田雄一 (兼務)		
北 工場	青木一吉	小泉勝久	松尾国彦	山崎幸一	五十嵐直人	高柳忠相		
品川工場	初鹿雪雄	志村克己	長谷川虎蔵	塩田 修		山田 武	児玉 崇 大石寛也	佐藤成人
目黒工場		甲州清和	奈良有記	荒川幸司		岡田圭司	谷口明巳	小坂正幸
大田工場	細貝秀夫			稲葉智治		細貝秀夫 (兼務)		
千歳工場	山崎英男	堀口 孝		斉藤健治		石綿信之		
渋谷工場	杉浦 貢	会場英人 駒井貞雄	浪江義男 齋藤武男	鈴木洋行	亀田貴浩	阿部英俊		
多摩川工場	西村好勝	橋本大介		西村好勝 (兼務)		中村英光	中村明日 子	小沼大司
杉並工場	岩田正隆	古屋栄一		岸野静男		中川俊一		
板橋工場	佐谷良一	佐藤 康 内山陽治	益子光宏	臼井 孝	鈴木 誠	小林喜代彦	服部祐一	
葛飾工場	大森 章	水野義昭		藤川勝己		菅野裕亮		
江東工場	内山健司	谷中 登	若濱恭司	添田松敏		谷中 登 (兼務)	岡本行正	木村昭一
世田谷工場	中村幸夫			金子隆義		高橋 亮		

題は、全世界の経済を震撼させ、百年に一度という世界恐慌の突入前夜の様相を呈してきている。
派遣労働者が真つ先に切られ、住む家もない、雇用保険もない、明日の食べ物すらない状態となり、街の中に放り出されようとしている。このような社会的不安や不満が、我々行政で働く職員、すなわち公務員へ向けられてきている。
「民でできることは民へ」「アウトソーシング」が呪文のように唱えられ、我々の賃金と雇用の安定を揺るがしているのである。
今、各自自治体では、行政の一層のスリム化を進行させるため、外部委託化を施策の根本に掲げている。
東京都も特別区も例外ではない。まして二十三区を構成区とした、我々一部事務組合に対して、不当な民間委託化が押し付けられてきている。
身分についても身分保障協定を締結しているが、この

協定も必死に守るという我々の意思が無ければ存続できるものではない。
我々は安全・安心・安定的な工場を確立し、二十三区民から信頼される清掃一部事務組合をひとつの自治体として確立させなければならない。
そのために、働きやすい、将来も安心でき、職務に精進できる職場環境を作りあげなければならない。
その元で闘った委託反対の強い運動のもと、来年度は直営工場の更なる委託化はさせなかった。
一定の勝利とも言える。
しかし今年度の三委託工場の残りの四分の一について等は、昨年の交渉事項として既成のものとしておとり、当局が委託化を断念したわけではない。
当局はこの間の我々の委託下の工場の実態指摘により民間委託化がどれだけ安全・安心な工場からかけ離れていっているか。
そして職員のやる気を奪

い、工場現場の人材を細らせているのかわかっていない。
また職安法や労働者派遣法などに対する違法に近い状況での運営が余儀なくされていることや、委託による不安定雇用の労働者を生み出すことの片棒をかついでいることはわかっていない。
今こそ二十三区民の信頼を裏切りかねない民間委託化(アウトソーシング)を凍結し、次代を担う設備管理職員の採用を早期に行うべきである。
次に組織の問題である。
我々の職場に依拠し、根をおろした闘いとがんばり、どんなことでも自由のもの、言える雰囲気確保でき、明るい職場を各支部とも維持できている。
また人材育成の必要性を訴え、不十分ではあるが、現業職を含めた訓練センターに組合があることが如何に必要か。最近、特に派遣労働者

働者がユニオンを作り、解雇を巡って使用者に対して闘い始めていることが盛んに報道されていることを見れば、組合の必要性は自明である。
しかし、公務職場における民間委託化は組合破壊攻撃でもある。事実委託された工場の組合員は激減し、組織の維持に困難をきたしている。
特に一組では委託工場のみならず一組固有職員と区派遣職員が約半々となり、執行委員のなり手も少なくなり、支部運営に支障をきたしてきている。
一組総支部は民間委託に反対の取り組みはもとより、新規採用問題、区派遣職員の組織化問題、差別問題、訓練センターなど、現行清掃一組の特有の課題に加え、一自治体としての時短、昇給・昇格問題に限らず、労働条件からむすすべての課題に対応して運動しなければならぬ。
しかしながら、現業職員

の数が三十三%で行政職員の半分、しかも全職種を合わせた四十三%が派遣職員という比率、なおかつ、区派遣職員や人材派遣からの職員、委託業者まで混在している一組の実態、また一組労組(二組)という組織破壊を繰り返す組織の存在の中で、当局と闘うには、一組総支部の強化と各支部の団結が不可欠である。
各支部役員の献身的努力はあるものの、それだけでは組織を維持・発展させるのは困難である。
我々は各支部強化のための資金投入と、一組総支部に対しては、専従配置を本部に引き続き求めていくものとする。
右決議する。
二〇〇八年十二月十九日
東京清掃労働組合
一組総支部

安全作業

後でやるより「今」大事、
見つけたときに点検整備!

調査と対応

警報重視!

原因究明

一組総支部安全規則

公務労働書をなくそう

工場職場の公務災害が多発し、一組安全衛生委員会等で、危険箇所の特定や改善などが議論されている。身近にある危険箇所を把握し、安全に作業できる環境の推進が必要である。どの工場職場でも、必ずある危険な作業に対して、十分な作業手順の確認をしよう。作業人員の確保や、作業機材の点検、保護具の着用など基本に戻ることにも重要な作業の一貫です。無事故で、毎日を楽しく暮らすことができる目的や目標を構築しよう。

くみこちゃん

福園ゆい

今年、健康に注意して、がんばるぞ。うし年だから、ゆっくりしよう。

今年も、安全作業を、我々の職場を守るために頑張ろう。

皆さん、元気にお願いします。何を組んでいますか。考えているのか。

毎日、モチベーションを元気に、パチンコも、一組の組一さん!

新年会の過ごし方です

とりあえずビールは意味がないのかな!

「ビールで乾杯〜!」は最初の一口だけに!
「じゃあ、とりあえずビール!」ってよくよく考えると全く意味がないと思いませんか? ビールは中瓶1本で約200kcalし、つぎ足しされやすく、どんどん飲む量も増えていくものです。しかも、親しい仲間と一緒に飲めたら尚更ですね。
では、他のアルコールはどうかというと、日本酒1合約200kcal、発泡酒1缶約350kcal、焼酎約280kcalと高カロリーのオンパレード。
そこでオススメなのがワインです。ワイン(赤・白)は100mlで約60kcalと、アルコールの中では比較的低カロリーの飲み物。しかも、赤ワインに含まれるポリフェノールには、悪玉コレステロールの酸化を抑える美容効果があるので、ダイエット中でも心おきなく飲めるのがいいですね。
どうしても「とりあえずビール!」じゃないと場がしらける……という場合は、乾杯の一口だけをビールにして、あとはワインをゆっくり飲むようにするのが賢明かと思われます。
(べてらんヤフー人の酒飲み情報より)

イラスト募集中